


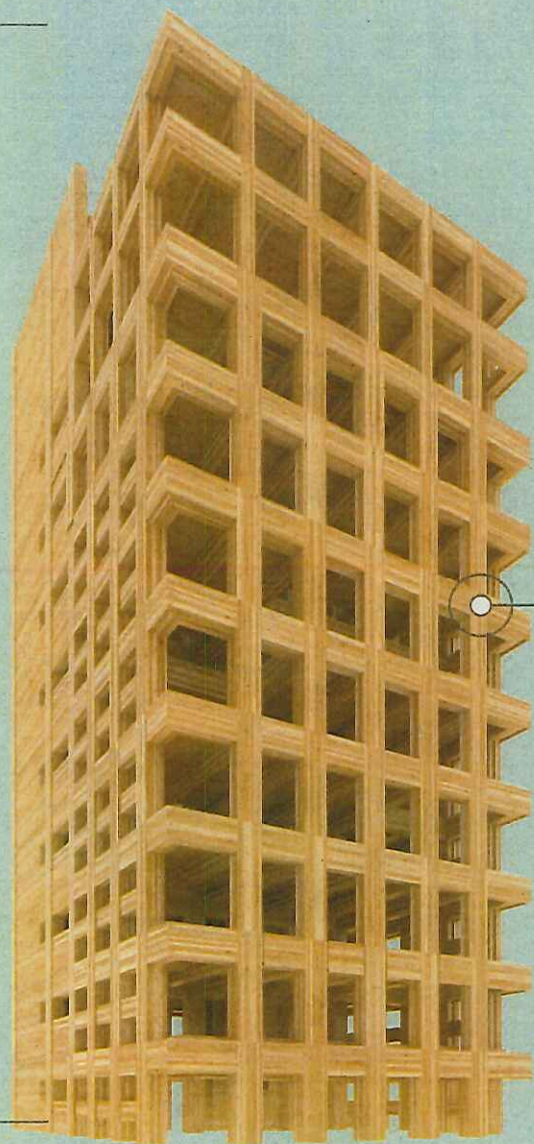


Port Plus

日本初の高層木造耐火建築物 | 大林組次世代研修施設

 つくるを拓く
MAKE BEYOND

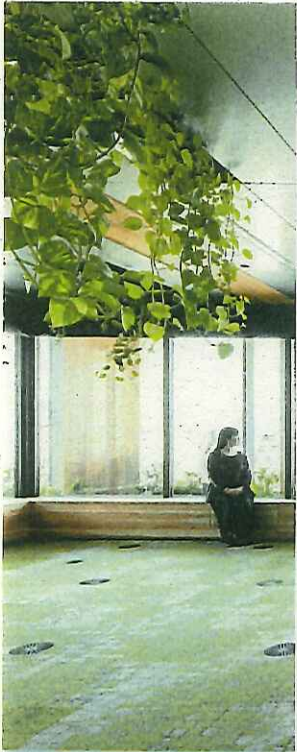
約45m



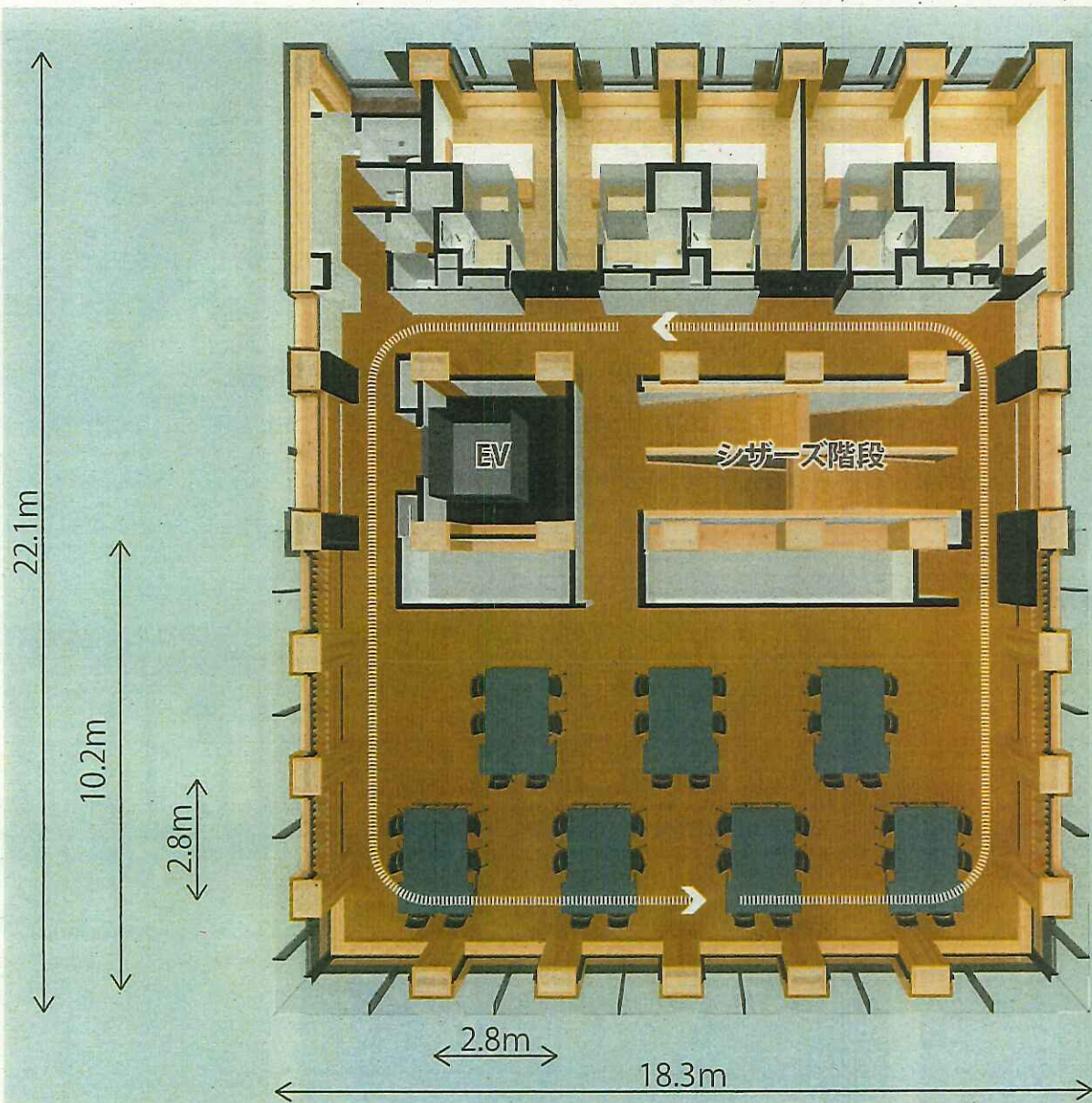
純木造

主要構造部である地上の柱、梁、床、屋根のすべてが木

Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.



Copyright © 2022 OBA YASHT Corporation All Rights Reserved.



宿泊エリア

コア

研修エリア

PROMOTION

INNOVATION

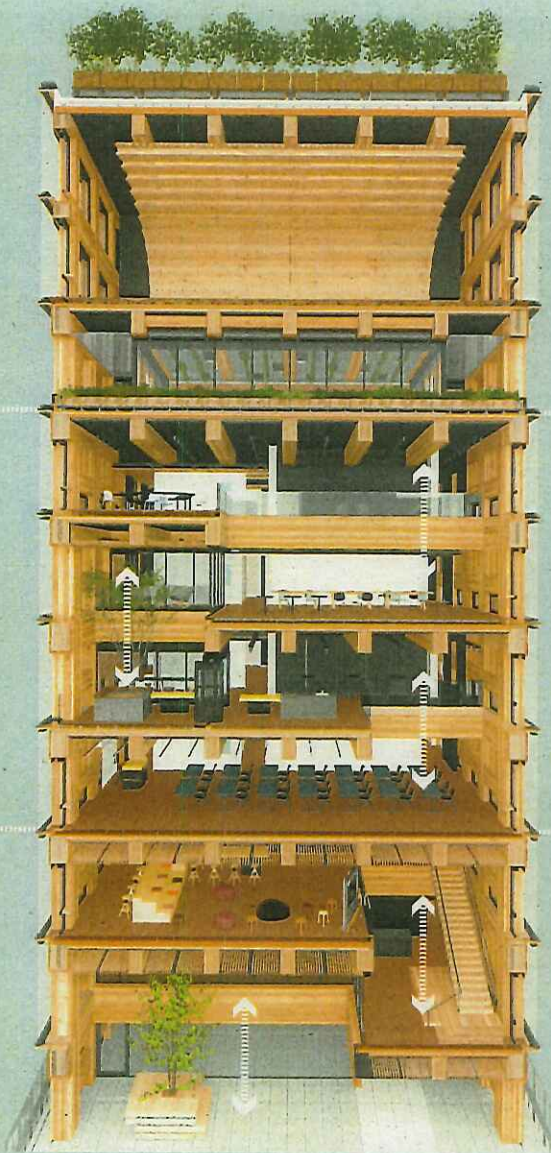
これからの
知を育む場

WELLNESS

SUSTAINABILITY

Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

One Port



Wood
×
Biophilic



Living Port

Wood
×
Hackable



Cross Port

Wood
×
Luxury

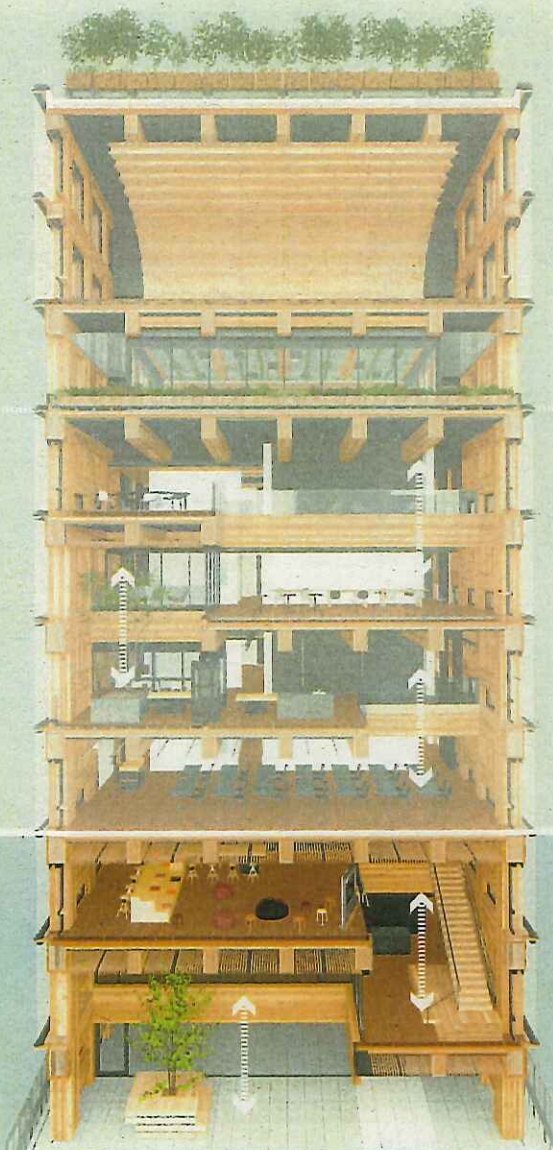


Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

One Port

Living Port

Cross Port



2F



1F



Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

One Port



Living Port

Cross Port

6F



5F



Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

One Port



Living Port

Cross Port

9F



8F



Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

2022年

日本初の高層純木造耐火建築物
都市に「第2の森林」を



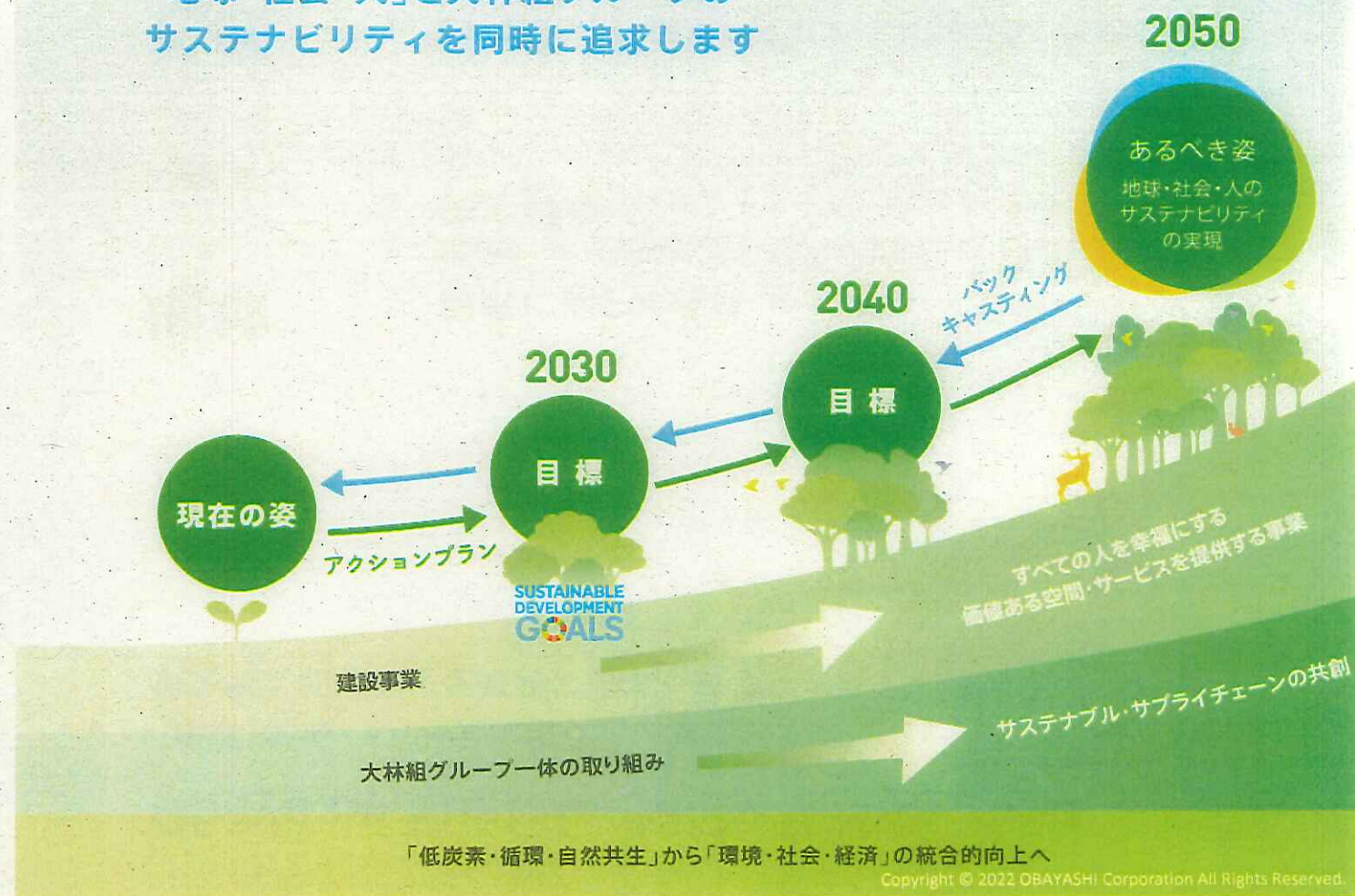
Port Plus

日本初の高層純木造耐火建築物 | 大林組次世代開発施設

つくるを拓く
MAKE BEYOND

Obayashi Sustainability Vision 2050

「地球・社会・人」と大林組グループの
サステナビリティを同時に追求します



2022年

日本初の高層純木造耐火建築物
都市に「第2の森林」を



Port Plus

日本初の高層純木造耐火建築物 | 大規模次世代緑地開発

つくるを拓く
MAKE BEYOND

Obayashi Sustainability Vision 2050

「地球・社会・人」と大林組グループの
サステナビリティを同時に追求します

人

のサステナビリティの追求

ウェルビーイング

1. 木質内装による **こころとカラダの健康** の増進
2. 耐火/耐震技術開発による木造ビルの **安全/安心** の確保
3. 木造による建設現場の**省力化**の追求/**生産性**の向上

地球

のサステナビリティの追求

脱炭素

1. 都市に**第2の森林**をつくる
2. 建築物への木材利用による**CO2固定 / 排出量削減**
3. **ESG投資** 対象となるカーボンニュートラル社会への貢献

社会

のサステナビリティの追求

サーキュラー
エコノミー

1. **Circular Timber Construction** への挑戦
2. **木材の資源循環** への関与
3. 森林共生都市構想による **地方創生** の実現

地球

のサステナビリティの追求

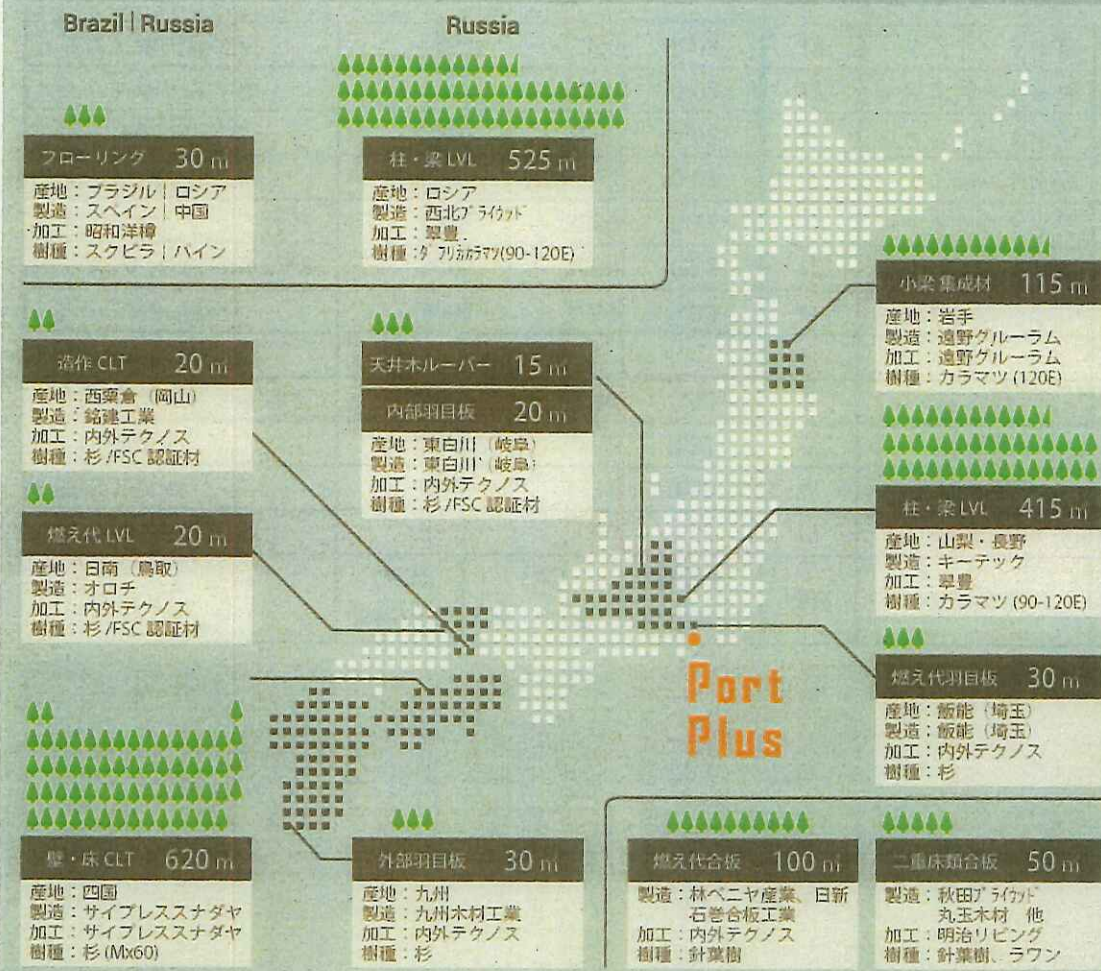
脱炭素

Port Plus

日本初の高層木造耐火建築物 | 大規模近代新築施設

つくるを拓く
MAKE BEYOND

1. 都市に第2の森林をつくる



木材使用量
1,990 m³

- 木構造体 : 1,675 m³ [85%]
- 木耐火被覆 : 150 m³ [7%]
- 木仕上げ材 : 165 m³ [8%]

【参考】国の公共建築物での
木材使用量 (R2年度)
5,286 m³

FSC-P001889



The mark of responsible forestry

Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

地球

のサステナビリティの追求

脱炭素



Port Plus

日本の最先端木造建築！大規模木造建築

つくるを拓く
MAKE BEYOND

1. 都市に第2の森林をつくる

延床面積材積率：0.55 / 建築面積材積率：5.00

	木使用量 (m ³)	延べ面積 (m ²)	延床面積 材積率	階数	構造種別	耐火	用途
Port Plus	1990	3600	0.55	11	純木造	2h耐火	研修所
高葱木工ビル	454	1131	0.40	7	純木造	2h耐火	集合住宅
イニエ南笹口	234	750	0.31	5	純木造	2h耐火	集合住宅
いわきCLT復興公営住宅	2300	4600	0.50	3	純木造	準耐火	集合住宅
大林組 新梅田寮	860	3677	0.23	3	ハイブリッド木造	準耐火	寄宿舍
HULIC & New GINZA 8	300	2500	0.12	12	ハイブリッド木造	2h耐火	商業施設
タクマビル	385	3300	0.12	6	ハイブリッド木造	2h耐火	事務所
HIO外苑前	32.1	1814.42	0.02	7	ハイブリッド木造	2h耐火	事務所
PARK WOOD高森	200	3600	0.06	10	ハイブリッド木造	2h耐火	集合住宅
ブラッツウッズ木場	157	9150	0.02	12	ハイブリッド木造	2h耐火	集合住宅
プラウド神田駿河台	55	250	0.02	14	ハイブリッド木造	2h耐火	集合住宅

Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

地球

のサステナビリティの追求

脱炭素



Port Plus

日本初の高層木造耐震建築物 | 大村建設株式会社開発

つくるを拓く
MAKE BEYOND

2. 建築物への木材利用による CO2固定 / 排出量削減

CO₂ 固定量

1,650 t-CO₂

木材利用での CO₂ 固定量

※簡易な「見える化」計算シート試算
(林野庁が公開の試算資料)

敷地面積 565 m²に
固定される炭素量

450 t-C

約 4.5ha の杉林が 50 年間で
吸収する炭素量の相当 (※)

※ 森林の林木が吸収 (固定) する炭素の平均的な量: 森林総合研究所より

Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

地球

のサステナビリティの追求

脱炭素

Port Plus

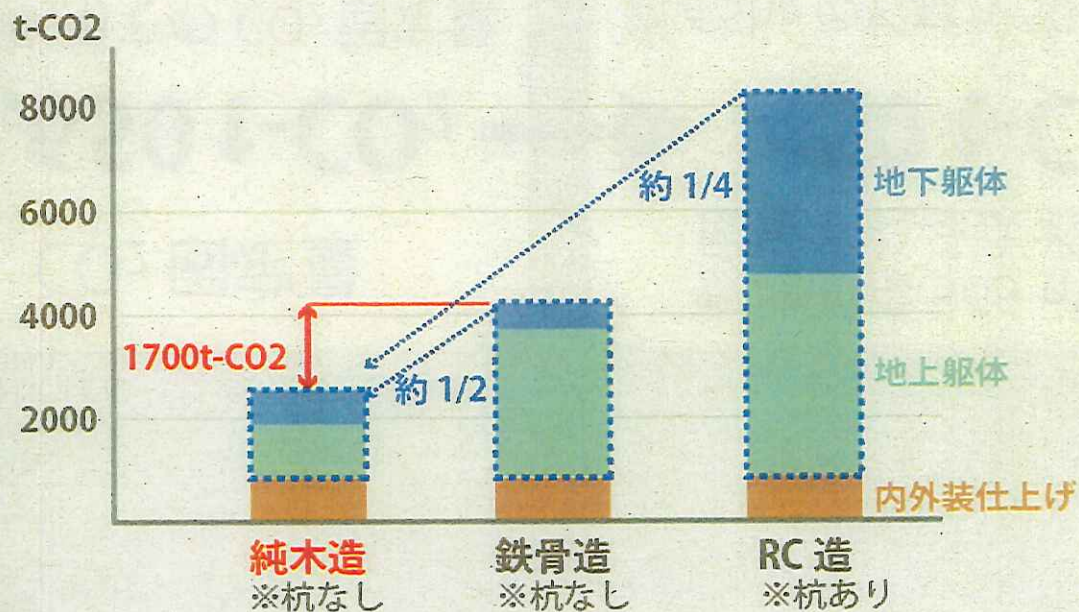
日本初の高層木造耐火建築物！大規模木造世代賃貸施設

つくるを拓く
MAKE BEYOND

2. 建築物への木材利用による CO2固定 / 排出量削減

CO₂ 削減量 1,700t-CO₂

※鉄骨造との比較 (ライフサイクルアセスメントによる)



Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

地球

のサステナビリティの追求

脱炭素

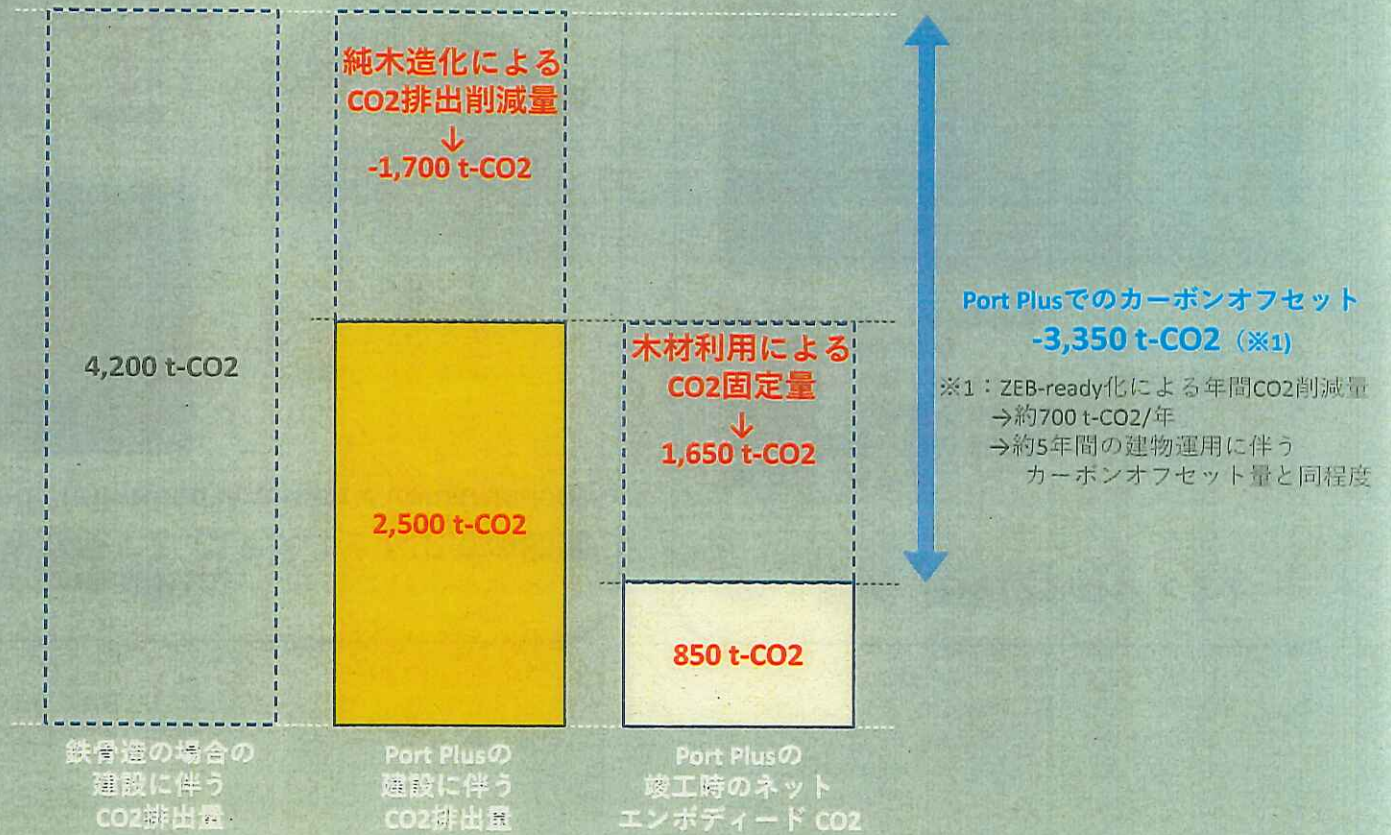
Port Plus

日本初の高層木造耐火建築物 | 木造建築が新時代

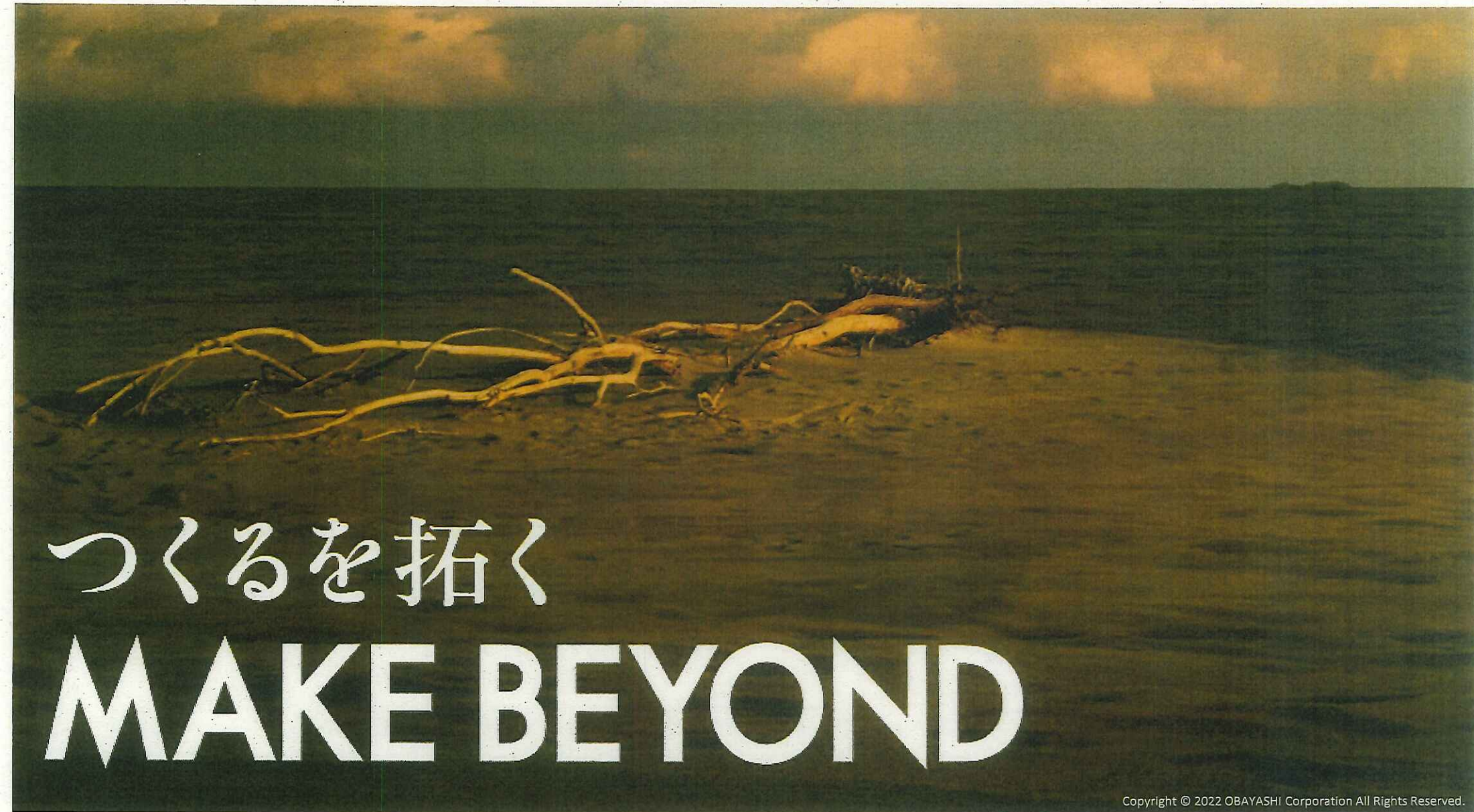
つくるを拓く
MAKE BEYOND

2. 建築物への木材利用による CO2固定 / 排出量削減

Port Plusでのカーボンオフセット：3,350t-CO2



Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved



つくるを拓く

MAKE BEYOND

Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.

木と共に巡る未来へ



OBAYASHI

MAKE BEYOND

つくるを拓く



Copyright © 2022 OBAYASHI Corporation All Rights Reserved.